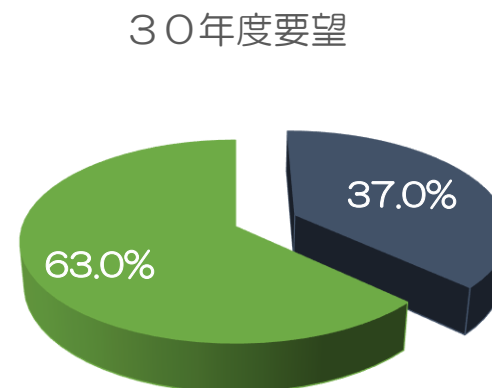
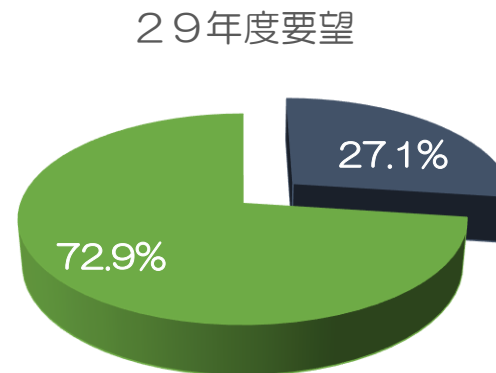
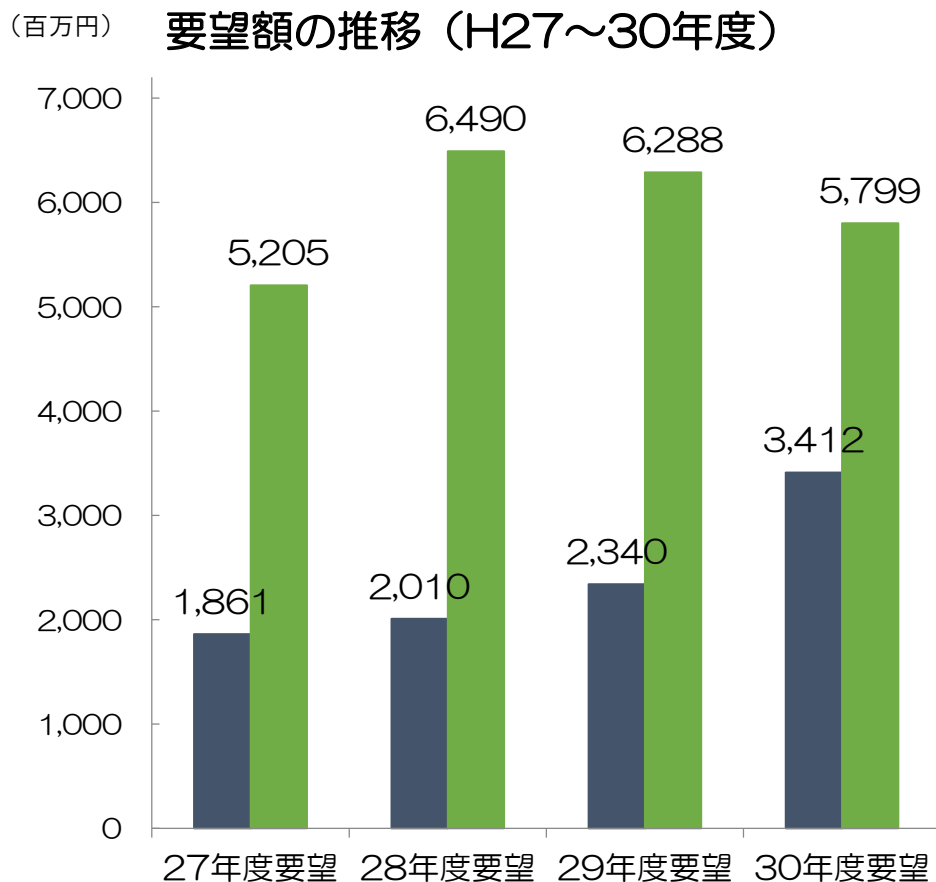


平成31年度補助事業の 考え方について(抜粋版)

公益財団法人 JKA

平成30年度要望比率と要望額の推移 (機械・公益)



■機械 ■公益

機械振興補助事業審査・評価委員会における議論

- 継続要望について、とかく惰性になりがちなので、毎年毎年チェックしていくことが大切。
特に長期間の継続案件については、成果等を出していただければ何の問題はない。
また、しっかり見ますよというスタンスをしっかりメッセージとして送っていただくことも大変重要なことだと思う。
- 自転車活用促進法について、所管省庁は国土交通省ということになるが、JKAの補助事業のPRについては、省庁横断的に（日本のために）行っていただく努力をしていただきたいと思います。

公益事業振興補助事業審査・評価委員会における議論

- JKAの場合は継続がひとつの特長だと思う。例えば、半ば終身的に補助する団体もいいと思う。JKAにとっても誇りに思えるような活動ならいい。一つ基準があって、5年に1回は必ず検証することか、そういうルールが必要ではないか。
- 5年以上継続しているものとか、どうしてもやらなければいけないものについては、毎年の審査評価における委員の先生の委員所見、主査と副査の所見以外に特別監査みたいに入念に財務体制、財務状態を見るのも必要かもしれない。
- 研究補助について、本当に必要かどうか、その議論もあってもいいのかなと思う。
もしやるならもっとち密に、領域を広げて、スポーツ科学、自転車のサイエンスみたいなところから広げる、公益のメニューから項目自体削除するのか検討すべきかと思う。

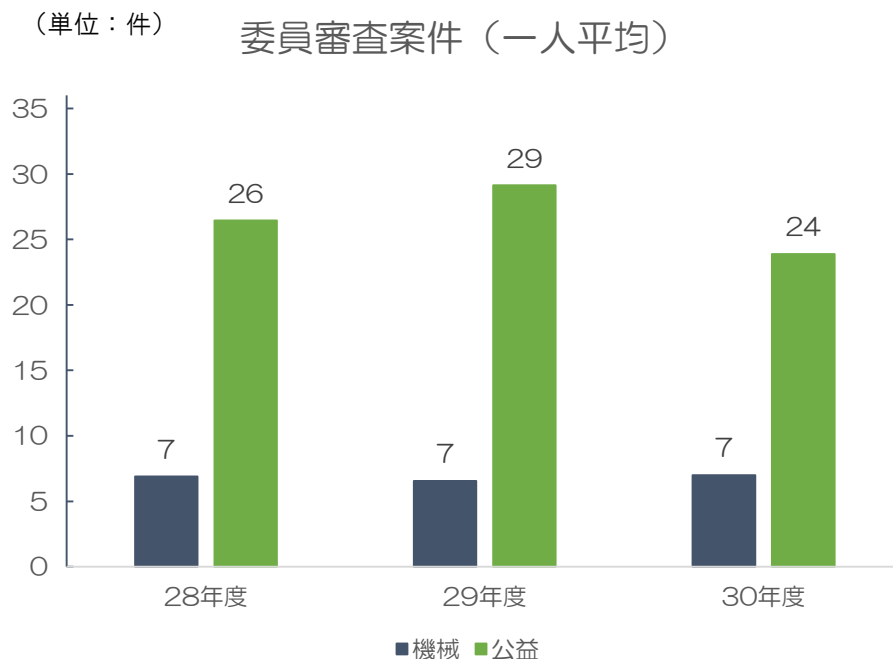
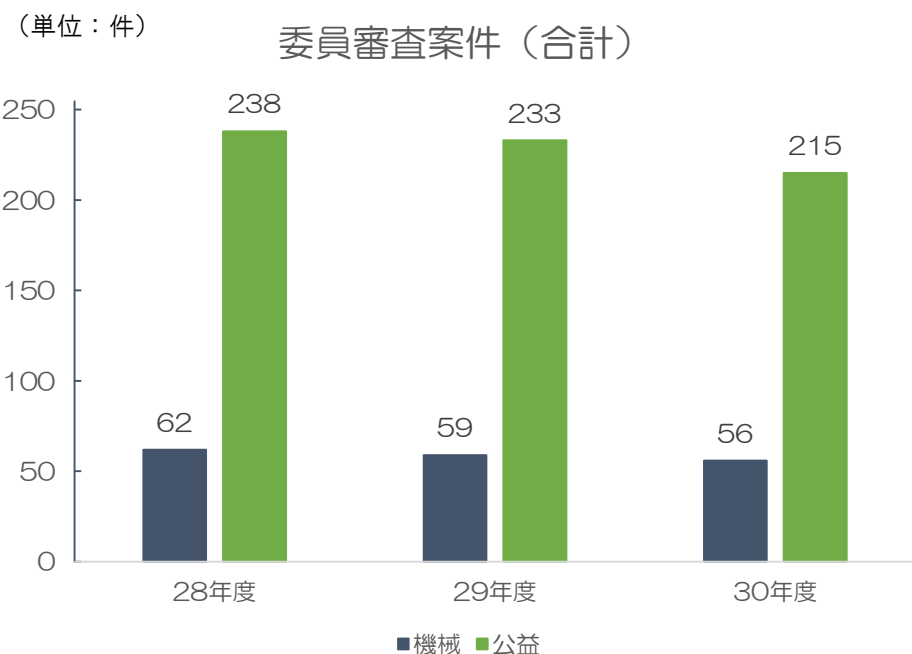
平成30年度 JKA補助事業部 年度方針 抜粋

- ニーズに応じた補助事業メニューの更なる見直しを行うとともに、情報発信の強化による認知拡大を図り、**要望額の拡大**を実現し、最終的に本財団の売上目標の達成に寄与する。
事務手続きの更なる簡素化により業務改善を図り、省人化を目指す。

環境変化への対応

- IR法案の議論経過からギャンブル等依存症対策へのニーズの高まりへの対応策の検討。

委員審査案件の推移（平成28～30年度） （機械・公益）



審査負担について

- ・ 審査担当委員の負担軽減策の検討。

平成31年度補助事業の考え方について

(1) 要望額拡大のための方策の検討・実施について

①ニーズに応じた補助事業メニューの更なる見直し

ア. 自転車活用推進計画への対応について

イ. 機公分野の検討について

ウ. 事務手続の簡素化による要望インセンティブの増大

エ. 審査委員の負担軽減策の検討について

オ. ギャンブル等依存症対策の検討について

②継続事業について

I. 機械振興補助事業における平成31年度補助事業の考え方について

(1) 自転車・モーターサイクル関連分野の要望増に向けた方策の検討

① 「自転車活用推進計画」への対応等の検討

(2) 機械振興の観点から「公益事業」から移管可能な補助メニューの検討

① 「医療機器の整備」事業の「公益事業」から「機械事業」への移管の検討

Ⅱ. 公益事業振興補助事業における平成31年度補助事業の考え方について

(1) 自転車・モーターサイクル関連分野の要望増に向けた方策の検討

① 「自転車活用推進計画」への対応等の検討

(2) ギャンブル等依存症対策への補助の検討

Ⅲ. 機械・公益事業振興補助事業共通の平成31年度以降の補助事業の考え方について

(1) 「継続事業」について

- ① 「継続事業」についての定義
- ② 「継続事業の評価方法や基準」の検討
- ③ 「継続事業者」への周知